



平成22年11月5日

各 位

上場会社名 クレアホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 黒田 高史  
 (コード番号 1757)  
 問合せ先責任者 取締役 岩崎 智彦  
 (TEL 03-5775-2100)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	418	△150	△188	△188	△0.48
今回発表予想(B)	246	△233	△281	△330	△0.71
増減額(B-A)	△172	△83	△93	△142	
増減率(%)	△41.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	213	△637	△926	△1,537	△10.17

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	863	△278	△353	△353	△0.79
今回発表予想(B)	417	△387	△461	△502	△0.82
増減額(B-A)	△446	△109	△108	△149	
増減率(%)	△51.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	514	△728	△1,102	△1,747	△9.23

### 修正の理由

当社は、建設事業の建て直しを主軸とし、当社グループの他セグメントについても、継続する営業キャッシュ・フローのマイナスを改善すべく、売上高確保を最優先とした営業戦略を展開して参りました。然しながら、建設事業におけるリフォーム・メンテナンス事業においては、松山営業所閉鎖による当該管轄地域への営業活動の停止、高松営業所の退職者発生や、その他、異常気象による炎天下作業での欠員による営業機会の減少等、受注低迷のマイナス要因が重なったことにより、当初の売上高予測を55百万円下回りました。給排水管工事業においては、当期純利益14百万円を計上できたものの、競合他社との低価格競争により大規模工事である更正工事受注が減少し、当初の売上高予測を21百万円下回ることとなりました。また、当社グループが成長性及び将来性を期待していた不動産事業においては、当第2四半期連結会計期間までに不動産取引による100百万円の売上高を見込んでいたものが、仕入業務のための資力確保に難が生じたことにより、事業の見直しをすることになったため売上高を計上することが出来ませんでした。

これら売上高減少の影響を受け、営業利益、経常利益、当期利益について前回予想を下回ることとなりました。また、当社業績に関しましては当初予想に比して低調に推移したこと、当連結会計期間末までに売上高を確保することに合理的な根拠が無いことから、業績予想の修正を行わせていただきます。

今後につきましては、建設事業ではリフォーム・メンテナンス事業において、高松に従業員を配置し、空白となった地域での営業再開による売上高の確保を行って参ります。給排水管工事業においては、売上高を当初の予測から21%マイナスとしますが現状で当期利益を計上していることもあり、広報活動に注力し、営業活動を推進して参ります。不動産事業においては、土地・建物の仕入業務については国内・海外において対象案件やパートナー業者へのアプローチ活動を継続して行ってまいります。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上